2015.9.16
発行

No.
35

えひめの保育

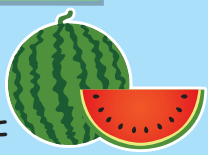
発　行　者／愛媛県保育協議会
会　　長／伊東　道子
編集責任者／田村　洋美

発　行　所／愛媛県保育協議会
松山市持田町三丁目８番15号
愛媛県社会福祉協議会内

新居浜市
若宮保育園

つぶやき①　―５歳児―

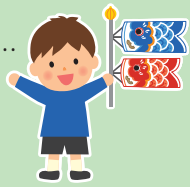
プール開きでスイカ割り。
たくさんのスイカを食べて大満足。
子ども**「人生ってさいこう！」と大ジャンプ！**思わずみんなで笑ってしまいました。



松山市
のぞみ保育園

つぶやき②　―３歳児―

連凧ならぬ、子どもたちの手作り
連こいのぼりの賑やかな様子を見て…
子ども**「わ～！こいのぼりがいっぱい！こいのぼりのおまつりじゃねえ～」**と、かわいい一言。



愛に満ちた保育

愛媛県保育協議会　会長　**伊東道子**

子育てや保育という営みは、育てる者と育てられる者との関係、つまり人間として生きる上での根底をなすものですから、その奥行や味わいには限りというものがありません。

最近は、新制度関係の文書に目を通すことが多いのですが、公文書はどうしてこうもわかりにくいのでしょうか。読み終えた後もなにやらモヤモヤとし、結局どういうことなのだ？という思いに至ることがよくあります。

そういう時は、時代を超えて、あるいは古今東西にわたっての優れた方々の言葉を読むことにしています。心から感嘆する言葉や文章は、それ自体はすぐに役立つものではないのですが、心の中に宿ることによって自然に豊かな実りをもたらしてくれるものだと思うからです。感嘆したり、共感したり、救われたり、そのような言葉に出会ったときはいつも持ち歩いているスケジュール帳に書き留めることにしています。

『愛だけではこれからの保育は成り立つとは思いません。しかし愛に欠けた科学的ないしは理論的保育など、そんな寒々しいものは、まるでお呼びではありません。』

保育者は心根の優しい真面目な人が多いのです。一生懸命保育の仕事に取り組んできました。それは特別保育事業の推進につながり、女性の就労に結びついてきました。少子化でも保育所利用が増え続けるのは、そうしたニーズとともに、保育所の持っている子育て支援機能に信頼を寄せてくれているからにほかなりません。

これからは、私たちの仕事を理論化し、それを伝える文章力や表現力を身につけ、様々な分野と子育て支援について連携するよう働きかけることが必要です。もちろん愛に満ちた仕事ぶりを発揮しながらです。

愛媛県保育協議会は役員改選を終え、前期からの継続メンバーに新役員が加わりました。会員の皆様とともに、喜びを高め、不安や心配を蹴飛ばしながら、子育て支援の価値を高めて参りましょう。

平成27年度愛媛県保育協議会役員

今年度、役員改選が行われましたので、次のとおりご報告します。

会　　長 … 伊東　道子　　**副会長** … 田村　洋美、合田　史宣、敷村　一元、檜垣　良子

常務理事 … 菅野　慎二　　**監　　事** … 藤田　晴江、関本留美子

総務広報部会

No.	氏　名	支部名	施設名	公私	正副部会長
1	田村　洋美	南宇和郡	城辺保育所	公	正
2	横田　暢洋	松山市	のぞみ保育園	私	副
3	直野　恵子	新居浜市	若宮保育園	公	
4	矢野　真理	今治市	乃万保育所	公	
5	浅野　千明	北宇和郡	好藤保育所	公	

調査研究部会

No.	氏　名	支部名	施設名	公私	正副部会長
1	合田　史宣	新居浜市	朝日保育園	私	正
2	吉岡　正江	伊予郡	小富士保育所	公	副
3	菅野　良昭	西条市	古川保育園	私	
4	青野　松一	西条市	わかば保育園	私	
5	森　　美紀	喜多郡	大瀬保育園	公	
6	吉田　葉子	大洲市	喜多保育所	公	
7	一柳　茂子	西予市	明間保育園	私	

研修部会

No.	氏　名	支部名	施設名	公私	正副部会長
1	敷村　一元	松山市	生石保育園	公民	正
2	中川恵津子	松山市	幼保連携型認定こども園 法龍寺こども園	私	副
3	石井　千秋	四国中央市	西保育園	公	
4	真鍋　知子	西条市	河北保育所	公	
5	龍田三津子	今治市	龍門保育園	私	
6	窪田　朋代	八幡浜市	川之石保育所	公	
7	石井喜代美	西宇和郡	伊方保育所	公	

実践研究部会

No.	氏　名	支部名	施設名	公私	正副部会長
1	檜垣　良子	今治市	桜井保育所	公	正
2	篠原　美保	四国中央市	妻鳥保育園	私	副
3	向井　美之	伊予市	なかむら保育所	公	
4	河野さとみ	松山市	山越保育園	公	
5	川井　昌子	宇和島市	大浦保育園	公	
6	鹿島　孝代	宇和島市	元気の泉保育園	私	

総務広報部会

各園や各支部の取り組みなど、様々な保育情報を「えひめの保育」や「ホームページ」に掲載して、充実した内容をお届けしたいと思います。皆様からの情報やご意見をお待ちしています。

ご協力よろしくお願いします。

部会長　田村　洋美

調査研究部会

この部会は、日頃子どもの育ちや保育全般に疑問に思っていることを１つの保育所で抱え込むのではなく、多くの保育所で共通の課題を拾い出して会員の皆様に資料を提供することが主な目的です。今年度は、児童票の変更を控え、改めて皆様のご意見をうかがうこともあろうかと思います。他にも調べてほしいと思う事がありましたら遠慮なくお申し出ください。

部会長　合田　史宣

研修部会

「子ども・子育て支援新制度」初年度になりました。社会ニーズに対応し、各保育士の資質の向上につながり、保育所全体のレベルアップになるような研修を行っていきたいと考えています。ご意見・ご要望があればお伝えください。

部会長　敷村　一元

実践研究部会

近年、保育は多様化し、高い保育の質が求められています。様々な研修を通して、保育士・保育教諭として、子どもたちに笑顔が、保護者に子育ての喜びが、伝わるような研修に取り組んでいきたいと思います。

部会長　檜垣　良子

平成27年度の私たちの取り組み

本会では、1年間を通じ、様々な研修会を実施しています。ここでは、各研修会の主な内容や参加された方々の研修後のアンケートでの感想を掲載させていただきます。

初級保育士研修会　6月10日~11日　ひめぎんホール

○実技「絵本・おはなしとあそぼう」
講師　絵本コーディネーター　おはなし屋えっちゃん　武智　悦子 氏

年齢に応じた絵本の紹介、様々な絵本・ペープサート・エプロンシアターを通して擬音語、擬態語からみる日本語の魅力について知り、それらをコミュニケーションのツールにする方法を体験することができました。

○講義Ⅰ　演習「育ちあいのコミュニケーション」
講師　えひめ親子・人間関係研究所　所長　平林　茂代 氏

人間関係を築くコミュニケーション力の3つの要素（自己概念・自己表現・傾聴）や相手の気持ちを理解することが重要で、そのために自分も相手も大切にする必要があることを学ぶことができました。また、グループワークでは自分の短所を発表し、グループの人が短所を長所に変換して自分を再発見することで、お互いのコミュニケーション力を育てることを学びました。

○講義Ⅱ「マナーアップ・実践研修~自分を誇れる保育士に~」
講師　オフィス・カラー　代表　水谷　紀子 氏

エチケット（思いやりを心で表現）、マナー（思いやりを行動で表現）の重要性や明るい挨拶とおじぎ、親しまれる笑顔、信頼を得る身だしなみ、人柄を表す言葉遣いなど、マナーを形で表現するポイントを、実践を交えて伝えていただきました。

○講義Ⅲ「遊びを通して保育を考える」
講師　京都大学名誉教授・中京大学客員教授　鯨岡　峻 氏

子どもは遊ぶ主体であり、大人が主導して遊ばせるのではなく、子どもが自ら遊べる環境づくりが大切だということを学びました。また、子どもは周りの大人から思いを受け止めてもらう、存在を認めてもらう、喜んでもらう、愛してもらうことを不可欠にしていること等、子どもの気持ちを理解して共感することの大切さや、子どもにとって本当に必要なのは、子どもの悲しい気持ちに共感する大人の心の動き、保育の場で子どもの心をどのように育むのか、ということを具体例から学ぶことができました。

【参加者からの感想】

- 絵本やパネルシアターがたくさんあって、本当に楽しめました。先生のよく通る声、特に高い声が透き通っていてずっと聞いていたくなりました。
- グループでの話し合いで自分の短所を長所に変えることができて少し自信がついたように思いました。また、相手の思いをくみとる大切さを再度確認することができました。
- 自分では、できている・わかっていると思うことも意外にできておらず、知らないことも多いということを感じました。また、自分の印象や見た目などは、相手の取り方によって違うので、日頃から笑顔・言葉遣い・身だしなみに気をつけていこうと強く感じました。
- 保育の深さを感じました。子どもの心に寄り添える保育者になり、子どもとの信頼関係を改めて深めていきたいと思いました。
- 「大きな声は無意味」という先生の一言にハッとしました。毎日必死に大きな声で子どもたちをまとめようとしていた自分を反省しました。これから1人ひとりと、もっとかかわっていきたいと思います。
- 私の保育は、子ども主体でなく自分主体、自分の思うように進めたいと思ってしまっていたことに気づき、反省しました。
- 保育をするにあたっての初心をすごく考えさせられる研修でした。子どもとの関係づくりや遊びや環境について保育士が同じ気持ちで共有していくことの大切さを知り、自分自身の中で課題を見つけることができてよかったです。
- 保育所に勤務して2か月。毎日が不安で辛いけれど、この2日間の研修で自分の改善点が見つかり、これらを少しずつ克服していきたいと思いました。
- 毎日の保育の中で、忘れかけていた「学ぶ」ということを久しぶりに感じ、自分の保育を見直し、今後の保育に生かしていきたいと思いました。
- 私は、職場に同期や年齢の近い先生がいないので、たくさんの初級保育士の仲間と話をしたり意見交換したりできたことが何より嬉しかったです。みんなそれぞれ大変だけれど頑張っていることがわかったので、自分の励みにもなりました。
- どんなに内容が良くても長時間話を聞くだけだと頭に入ってこなくなるので、もう少しこまめに休憩時間をとってほしかったです。

保育士関係者交流セミナー

6月16日　ひめぎんホール

今年度は31のブースが立ち並び、それぞれに工夫を凝らして情報の提供などを行う姿が見られました。東中南予の市町や保育所職員が、求人内容や園の概要を紹介しており、写真・園だより・パンフレットなど個性的な展示で目を引くものも多かったです。

セミナーでは「新人保育士から保育士を目指す方へのエール」・「保育所についてのQ&A」と題し、子どもの素晴らしさや保育の楽しさ、また具体的な悩みなどの質疑応答もあり、保育士という職業が身近に感じられたのではないでしょうか。

これから就職活動をする学生のみならず、子ども連れの母親の姿も見られ、良い提供の場となっていることがうかがえました。保育の魅力をアピールし、これからの人材確保に向けた活動を、県保育協議会の一員としても協力して行い、保育士不足を解消していく必要性を感じました。

【参加者】総来場者数：211名（学生99名、一般13名、養成校職員5名、ブース参加者70名、スタッフ等24名）

【参加者からの感想】

- 各ブースが細かく分かれており、自分の気になるところへ、ピンポイントに行くことができました。
- 保育士を目指す人のための説明会があることはとてもありがたいです。先輩方のアドバイスも聞くことができ、自分のためになりました。
- 初めての参加でしたが、多くの方に保育所を知ってもらうよい機会になったと思います。保育士・保育所支援センターの登録のことも聞くことができてよかったです。
- とてもいい話が聞けてよかったです。カエルの歌を披露してくれた講師を見て、私も将来、その人のような保育士を目指したいと思いました。また、職場の人間関係の良さも伝わってきました。
- プロフィールカードが参考になりました。5枚以上使用した人は、名前と住所だけでも記述できるものを用意しておけばよかったように思います。
- 参加する学生が少ないように感じましたが、交流セミナーの開催を知らせる方法はどうだったのか、もっと多くの方に参加して欲しいと思いました。

記念大会!!　第60回保育事業研修大会

8月25日　ひめぎんホール

本年4月から、子ども・子育て支援新制度が施行され、子ども・子育てをめぐる状況は大きな変革期を迎えた中、私たちは保育に携わる者として、地域社会から求められている保育・子育て支援の取り組みを十分に理解し、今以上に保育の質の向上に努める必要があります。

私たち保育関係者が一堂に会し、研究協議することで、子育てニーズの多様化にともない、多機能化が望まれる保育所（園）等の役割を十分理解し、すべての子どもの最善の利益を保障する子育て・保育を充実させていくことを目的として、本大会が開催されました。

午後からの講演Ⅱには、本大会の主題でもあります「すべての人が子どもと子育てにかかわりを持つ社会の実現」を目指し、より多くの方々に保育・子育てへの理解を深めていただこうと、本会会員外の一般の方、保育を学ぶ学生さんなどにも参加いただき、悪天候にもかかわらず、およそ400人に参加いただきました。

○式　典

参加者全員で児童憲章や全国保育士会倫理綱領の朗読と花のおさなごを斉唱後、愛媛県保育協議会長表彰を受賞された7名の方々の表彰式が行われました。

○講演Ⅰ「子ども・子育て支援制度とこれからの事業運営について」

講師　関西大学　人間健康学部　教授　山縣 文治 氏

愛媛県用に作られたパワーポイント等の資料を使い、新制度の主なポイントや意義をわかりやすく説明していただきました。また、参加者と対話形式で日本の保育における課題や具体的な方向性を示され、改めて「保育」の基本と大切さを話されました。

○講演Ⅱ「心理学から考える子育てと子どもとの向きあい方」

講師　心理学者・臨床心理士　植木 理恵 氏

子育てと人間の心理について、先生が研究されている心理学の視点から、人間のタイプ（性格）を大きく4つに分け、とてもわかりやすく話されました。また、先生がご出演されているテレビ番組の裏話なども話され、参加者の関心を引いていました。気さくな人柄で、優しい口調での講演に、参加者からの質問の手も多くあがり、大盛況のうちに幕を閉じました。

【参加者からの感想】

- 「心理学的」という新しい面から保育を考えることができてよかったです。
- 明日からの保育で、心理学を通して教えてもらったことを生かし、子ども等とのかかわり方を分析していこうと思います。
- 多分野にわたる研修でとてもよかったです。今後もこのような研修をして欲しいと思います。

今、いちおしの本！紙芝居！

あ　む

小風 さち　作
山口 マオ　絵
【発行】
福音館書店

黒犬あむとかっちゃんの絆とあむの日常を温かいタッチで描いた絵本。
犬好きでなくても、あむの表情に思わずにんまりしてしまう楽しさです。

しげちゃん

室井　　滋　作
長谷川 義史　絵
【発行】
金の星社

自分が大好きになる絵本です。普通サイズをお家で読むのもいいですが、大型絵本で友達と共感できるのもいいですね。

かこさとし紙芝居 かがくのいりぐち

【発行】
フレーベル館

・あめふってきた　ゆきふってきた
・うみのはなし
・スイスイおよごうスイミング
・せぼねのはなし
・６がつ６ちゃんはっはっは

ふしぎな魅力がある、かこさとしさんのかがくの紙芝居。子どもたちが科学に興味をもつ最初のお話かもしれません。ぜひ読んであげてください。

子どもに貧困を押しつける国・日本

山野 良一　著
【発行】
光文社

子どもの貧困対策の推進に関する法律が2013年6月に国会で成立しました。
「日本の子どもが貧困化？そんなの聞いたことありません」と言わずに、この本を読んでみてください。乳幼児の保育にかかわる私たちが何をすべきか…考えさせられます。

ホームページのご紹介

http://www.ehime-hoiku.jp/

会員の特権

愛媛県保育協議会の会員になると…

●会員専用ページにログインすることができます。

過去の研修会でご講義いただいた講師一覧をご覧いただけます。

また、「保育所児童票」の様式をダウンロードできます。

●各種助成金を利用することができます。

保育所長専門講座及び主任保育士特別講座の全額助成・各支部の発表指導助成・被災地支援活動の助成を行っています。詳細や申請書等も会員ページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

【入会・ホームページ等について】 詳しくは愛媛県保育協議会事務局までお問い合わせください。
TEL　089－921－8566

ベルマーク・スカンポ募金について

【ベルマーク】

本会では、継続した被災地支援の１つとしてベルマークを集めています。ぜひあなたもベルマーク収集サポーターになってください。各研修会場受付に「ベルマーク回収ＢＯＸ」を設置しています。回収したベルマークは、県を通じてベルマーク教育助成財団等へ送られ、被災地や本県の保育所等への支援に役立てられています。

【東日本大震災被災地保育士会支援募金（通称：スカンポ募金）】

2011年３月11日に発生した東日本大震災により、莫大な被害があった岩手県・宮城県・福島県では保育所が流失するなどの大きな被害がありました。震災の爪痕は大きく、３年以上が経過した今でも困難な状況が続いています。募金を通じて被災地で子どもの育ちを支える保育所・保育士を応援しましょう。

今年度から、各研修会場受付に「スカンポ募金箱」を設置していますので、ご協力をお願いします!!